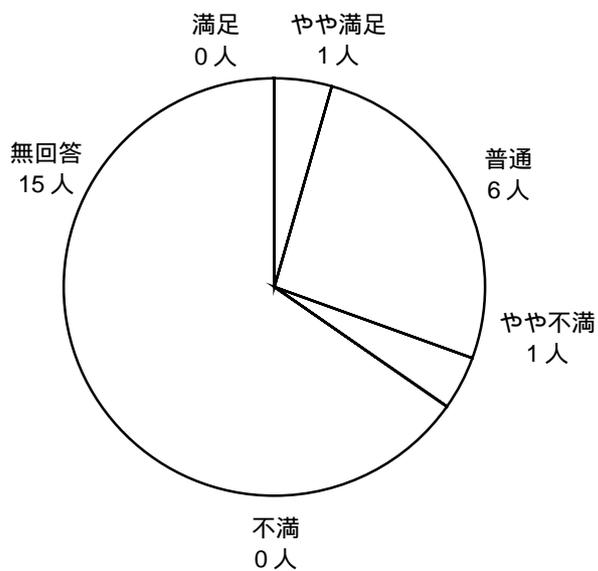
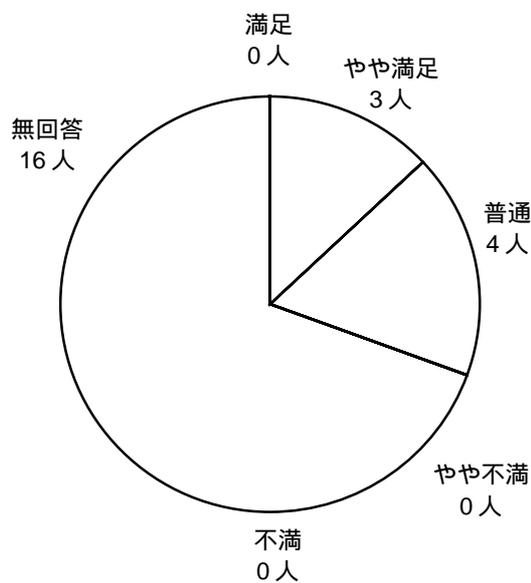


第16回外環沿線協議会 運営に関するアンケート結果

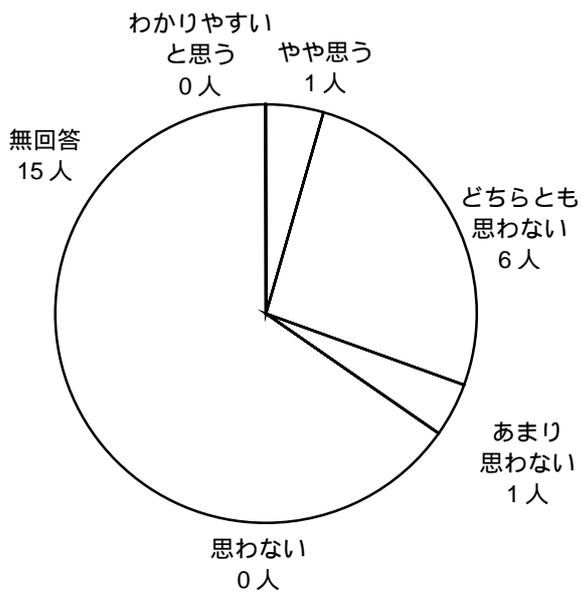
1. 本日の会議について



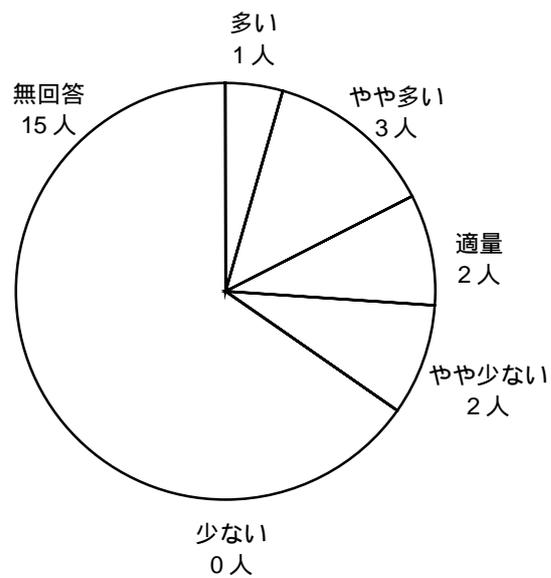
2. 運営について



3. 資料の内容について



3. 資料の分量について



4. ご意見

【運営について】

- ・運営懇談会の指針、方向づけが貴重なものとして受止めます。で努力を更に期待いたします。
- ・先日の運営懇談会で事務局から「論点項目の整理」が出され、確かに「この順番で」と話していましたが、これまで「影響から議論しましょう」と確認して順番に始めたばかりでしたので、まさか「総論」からの話になるとは思いませんでした。総論からでも結構ですが、大事なことですから、運営懇談会の席できちんと確認すべきです。

【資料について】

- ・協議会で使う資料が当日の朝に到着するのでは遅すぎます。
- ・外環に関する方針を国交省と東京都が示すのであれば、首都圏の将来交通需要予測、外環の各ICにおける交通の流れや交通量とその環境への影響について、シミュレーション結果を提示するのが先決問題である。肝心のデータを示さずに整備の方向性のみを打ち出すのは、議論の手順が違う。これらのデータを早急に提示すると共に、地域で意見を聴くためのオープンハウスの開設に入るべきである。

【その他】

- ・大変お世話になりました。今後共頑張ってください。
- ・「都市づくり」については、今後も必要に応じて議論の対象にしていきましょう。
- ・協議会では、周囲に振り回されず冷静に必要性の議論をすることによって、協議会の存在意義をアピールしていきたいものです。